

南区社協・福祉だより

〔編集・発行〕

心れあいネットワーク



社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
 広島市南区皆実町一丁目4-46 南区地域福祉センター内
 TEL 251-0525・251-0505 FAX 256-0990
 E-mail: minami@shakyohiroshima-city.or.jp

わたしのまちの地(学)区社協

広島市域では、概ね小学校区の範囲で地(学)区社会福祉協議会(略称、地(学)区社協)が組織されています。南区には16の地(学)区社協があり、それぞれ皆さんが安心・安全に暮らしていくことができるまちづくりのための取組みを進められています。その地(学)区社協の取組みを紹介します。

比治山学区社協

「心かよう夢と希望のもてるまちづくり」を目指して

～比治山学区社協における会議の工夫～

比治山学区社協では、誰もが安心してこころ豊かに暮らしていけるまちづくりのための取組みを進めています。同学区社協では、取組みを進めていく中で、委員の意識を揃えたり、情報を共有するため会議を大事にされたりして、出席された皆さんが満足感を感じることができるような工夫が散りばめられています。

そこで、その工夫の内容をご紹介します。

工夫1 会議の時間は原則1時間

これは、会議がダラダラしないための工夫です

工夫2 7つのルールを守る

- ルール1 批判厳禁
- ルール2 質より量
- ルール3 自由奔放
- ルール4 結合
- ルール5 楽しもう
- ルール6 肩書き年齢無視
- ルール7 できるだけ多くの方が発言する

工夫3 小グループを作り、グループごとに話し合う

工夫2、3は、出席された人たちに問題意識をもってもらうことや、積極的に発言をしてもらうための工夫です。

こうした工夫のおかげで、比治山学区社協の会議では、出席されたみなさんが活発に発言されています。

また、こうした会議を経て、関係者をはじめとして、みなさんのつながりが深まり、いい取り組みにつながっていると思います。

地域活動に関わる中で会議を主催されたり、出席されたりすることは数多いと思いますが、ちょっとした工夫で、会議が劇的に変わることもあるのではないのでしょうか。



▲「会議のルール」を貼り出し、みんなで確認をします



小グループを作り、会議を進めていきます▲

目次～主な内容～

- 「心かよう夢と希望のもてるまちづくり」を目指して
～比治山学区社協における会議の工夫～……………P1
- 「赤い羽根共同募金 よろしくお祈いします!!」ほか……………P2
- 「第14回 南区ボランティアフェスティバル大盛況のうちに終了」ほか…P3
- 「100号達成 おめでとうございませす～宇品東地区社協」ほか……………P4
- 「僕たち「スマイリング」と一緒に新しいことにチャレンジしてみよう」ほか…P5
- 「入学資金等の準備はできていますか?」ほか……………P6

「赤い羽根共同募金 よろしくお願ひします!!」

本年度も10月1日から、赤い羽根共同募金運動が始まりました。

この募金運動は、昭和22年の開始以来67年にわたり、日本の民間社会福祉に多大な貢献と役割を果たしてきました。

毎年多くの皆様から浄財をいただきますが、その多くが、高齢者や障がい者、子どもたちを対象とした地域福祉活動の事業費として配分され、活用されています。

南区社協にも配分金をいただき、ボランティアフェスティバルや在宅介護者の集い、また、この広報紙の作成経費として使わせていただいています。そのほか、地区社協の事業助成費の財源にもなっており、『新・福祉のまちづくり総合推進事業(「近隣ミニネットワークづくり推進事業」「ふれあいいきいきサロン設置推進事業」「地区ボランティアバンク活動推進事業」の3事業で構成)』の実施経費として活用されています。下欄の記事でもご紹介しておりますように、共同募金は地域福祉活動のための貴重な財源となっています。

地域の福祉活動事業に配分される以外にも、災害が発生した時の災害ボランティアセンターの設置や運営経費としても活用されます。東日本大震災で被災地を支えるボランティア活動にも継続して使われています。

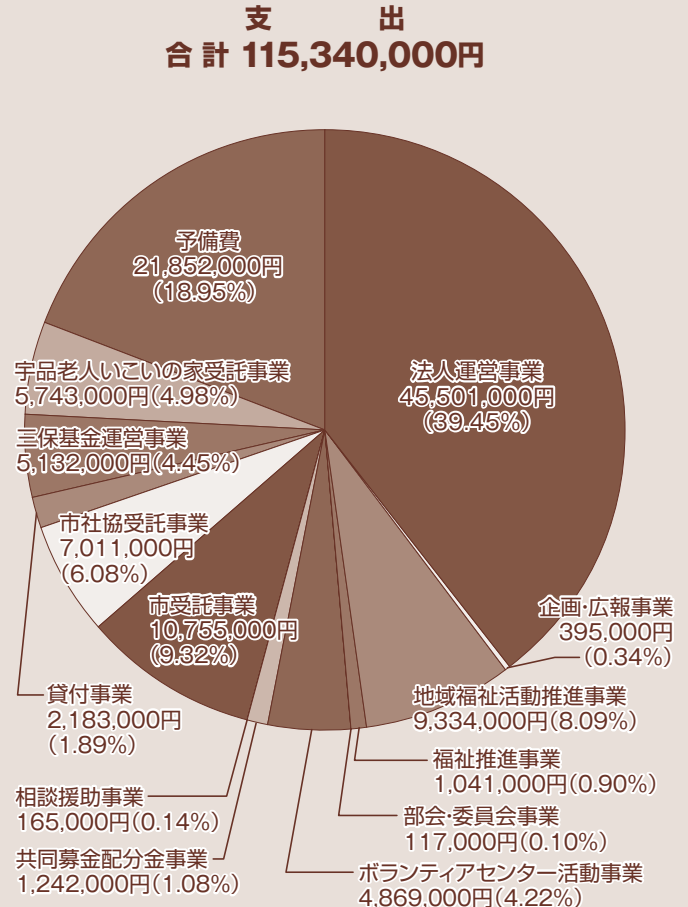
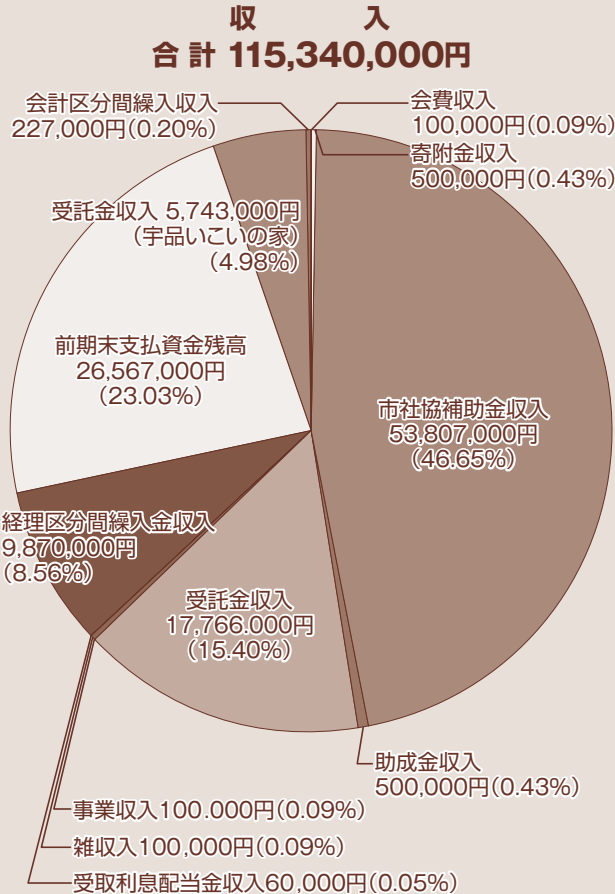
経済がまだまだ安定しない中で、募金額も年々減額しているのがここ数年の現状ですが、助けあいの温かい心により、今年もぜひご協力のほどお願いいたします。



平成25年度 広島市南区社会福祉協議会予算は次の通りです

平成25年度事業計画・収支予算

地域で生活している人々や家族の関係性はますます希薄化し、孤独、孤立、虐待、いじめ、介護放棄などが社会問題として、深刻度を増してきています。このような中、区内の幅広い組織や機関・団体・施設などが相互に連携し、それぞれの役割・機能が発揮できるようネットワークづくりの推進に努め、住民のニーズ、地域性に即した地域福祉活動を展開します。



(共同募金について)

収 入 / 市社協補助金収入のうち、5,819,000円が共同募金の配分金で、市社協補助金収入の約10.8%にあたります。
支 出 / 地域福祉活動推進事業のうち、5,145,000円が共同募金の配分金で同事業費の約55.1%にあたります。

第14回 ボランティアフェスティバル大盛況のうちに終了!!

10月6日(日)、『第14回南区ボランティアフェスティバル』が盛大に行われました。第14回を迎えたこの催しですが、今年、よりよい地域づくりのために、“地域のつながり”を改めて考えてみようという想いから、『今じゃろ!地域の輪』というテーマで開催しました。当日は天候にも恵まれ、1,400名の人にご参加いただきました。

今年は、南区作業所連絡会有志によるオープニングパフォーマンス(ヘビーローテーション)でにぎやかに開会!!午後からはおなじみの和太鼓も登場し、豪華賞品も当たる大抽選会を楽しみにしながら、来場者の皆様が参加したフォークダンスまであっという間に時間が過ぎてしまいました。

毎年、違った飾りつけで会場を華やかに彩ってくださるボランティアの方々、ご来場の皆様が安全に、安心して楽しめるよう、駐輪場等の誘導をしてくださっている各地区社協の方々がおられます。ボランティアフェスティバルを陰で支えてくださっている皆様に感謝いたします。ありがとうございました。また来年もお待ちしています!



◀第14回のオープニングは南区作業所連絡会の有志の皆さんでした



▲「遊びのコーナー」をはじめ、様々な企画が目白押しでした



▲恒例となったフォークダンスも好評でした

ぶ ら り 、 ふ れ あ い さ ろ ン

現在、南区には77のふれあい・いきいきサロンがあり、地域のふれあいの場づくりを進めています。そんな区内の様々なサロンの取り組みの様子を紹介していきたいと思ひます。

“皆が居たいと思う”場所づくりへ向けて ～段原地区 ふれあい・いきいきサロン「陽だまり」～

「陽だまり」は、平成14年に発足し、今年で11年目を迎えました。発足当初から地区のボランティアグループ「ボランティアだんばら」と一緒に取り組みを進めてきました。

毎週1回の開催は負担が大きいため、毎月1回くらいからはじめてはという話もあったようです。しかし、『毎月1回では1回お休みしてしまうと約2ヶ月会えない人も出てくる。それでは中々皆さんの居場所にならない』と最初から毎週1回開催されています。

「ふれあい・いきいきサロン」の運営では、どうしてももてなすボランティアともてなされる高齢者と分かれてしまいがちです。また、週1回の開催では、ボランティアの皆さんの負担も大変大きなものとなってしまいます。それを克服し、全員が主体的に参加できるようにと「陽だまり」では、参加される高齢者に向け、“準会員制度”を作りました。準会員となった高齢者の人たちは当番で、お茶の準備など、ちょっとしたお手伝いをされます。また、「陽だまり」の運営だけではなく、段原地区で実施される猿猴川河童まつりのお手伝いなど、地域行事のお手伝いなどもされます。

「陽だまり」の世話人の小川さんは「準会員となられた人たちは、「陽だまり」の中で役割があることで積極的に参加されるようになった。また、そのお陰で一層、明るく・前向きになられた」とおっしゃいます。

南区内のふれあい・いきいきサロンはどのサロンも様々な工夫をされていますが、準会員制度は、参加されるみなさんが役割を持ち、果たすことで、自分の居場所を感じることができ、居たいと思うことができる素敵な工夫だと思ひます。

開催日時：毎週水曜日 10:00～12:00
会 場：段原西集会所(広島市南区段原二丁目 11-28)
参加費：500円/回



▲可愛いおしゃれ箱を作っています



▲取材当日は、小物作りをされていました

このページで紹介しております「ボランティアフェスティバル」、「ふれあい・いきいきサロン」の活動のための財源として共同募金や、皆様からの賛助会費、寄付金が利用されています。

広島市南区社会福祉協議会では、これらの活動をとおして、南区の皆さまにボランティア活動に関心をもっていたり、地域の中の居場所づくりなどをとおして、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めています。

ひろしま♡あび♡隊 大州学区にあらわる

この度、大州学区では民生委員児童委員協議会・学区社会福祉協議会の共催で、知的な障がいの理解を深めるための研修会が開催されました。

昨年の夏に「2012南区ボランティアチャレンジ・ナビ」で南区デビューされた「ひろしま♡あび♡隊」が研修会の講師になりました。知的障がいの疑似体験や保護者の人たちの話を聞き、知的な障がいの人の世界を感じてもらったり、保護者の皆さんの想い、知的な障がいをもたれた人たちを取り巻く環境などを聞いたりしました。この研修会をとおして、大州学区の皆さんに知的な障がいの理解が広がったのではないかと思います。参加された人たちも「お母さん達の話聞いて良かった」、「貴重な体験ができた」と大好評でした。

大州学区社会福祉協議会では、現在、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのための計画づくりを進められています。この研修会で体験したことや学んだことは計画づくりを進めていく上で、大変有意義なものになると思います。

ひろしま♡あび♡隊とは

「ひろしま♡あび♡隊」は、わかりやすく、楽しく、参加できる疑似体験を通して、知的障がいへの理解をすすめるための活動をしています。メンバーは知的な障がいのある子ども達のお母さんたちです。

広島県の鳥「あび」からとって「ひろしま♡あび♡隊」と名付けられました。前後のハートは、あびの羽をイメージしていて、「大きく羽ばたいていけるように」との思いが込められています。

このような体験を通して、物の見方、感じ方、捉え方が少しだけ違う知的障がいの人の世界を感じてもらい、一人でも多くの人に正しい理解を広めていくために、あび隊の今後ますますの活躍が期待されます。



「あび王国へようこそ」では、知的障がいの疑似体験をしました



お母さん達のお話も大変好評でした

100号達成 おめでとうございます!! 「宇品東だより」

今年の7月で宇品東地区社会福祉協議会の広報紙「宇品東だより」は100号を迎え、記念号を発行されました。昭和48年7月に創刊号を発行され、40年間をかけて達成されました。

地域に密着した情報を届けていくため、地域の皆さんが努力して続けてこられ、100号に至りました。

同地区社会福祉協議会の石井会長は「共に生きる共に支えるまちづくりには、人と人とのつながりが必要であり、コミュニケーションの形成こそが、まちづくりの基盤であって、広報紙がこの役割を担っている」とおっしゃいます。

現在、宇品東地区社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりに向けた取り組みが進められています。「宇品東だより」の持っている機能を存分に発揮することは、そのために大変意義のあることだと思います。

今後、さらに発展されることを祈念いたします。



認知症講演会 「知ってなるほど認知症」

4人に一人が65歳以上の高齢者の時代です。また、市内にお住まいの高齢者の、約8人に1人が認知症です。認知症は脳の病気であり、早く発見して適切な治療を始めると、進行を遅らせることができます。

医師を講師に招いて、認知症に関する講演会を開催します。また、お住まいの地域の相談先として、地域包括支援センターについてご紹介します。ご関心のある方は、ぜひご参加ください。

- 日時：平成25年12月7日(土) 13時半～15時半
- 場所：南区地域福祉センター(南区役所別館)4階 大会議室
- 内容：認知症について(基礎的なお話をしてもらう予定です) 地域包括支援センターの紹介
- 講師：県立広島病院 精神神経科 高畑 紳一先生
- 定員：150名
- 参加費：無料



(申し込み先)
資料や座席数の都合がありますので、必ず事前に南区社会福祉協議会までお申し込みください。
南区社会福祉協議会 Tel: 251-0525

(問合せ先)
南区役所健康長寿課 Tel: 250-4108
南区社会福祉協議会 Tel: 251-0525

僕たち「スマイリング」と一緒に新しいことにチャレンジしてみよう!

「スマイリング」は、南区社協が主催する学生向けのボランティア講座の受講生が中心となって、平成17年4月に発足した、学生主体のボランティアグループです。

活動は主に、広島市手をつなぐ育成会南区支部の障がい児・者活動「マイキーズ」の活動援助です。毎月1回バスハイクや遠足、ミニ運動会、クリスマス会、もちつき大会などのレクリエーションを考えて楽しく活動しています。また、これらの年間行事のために、毎月数回ほどミーティングを通してメンバー間の交流をしています。ただいま一緒に活動してくれる仲間を大募集しています。

まずはミーティングから参加してみませんか?参加希望の方は南区社会福祉協議会(251-0525)まで!!

広島市手をつなぐ育成会とは

「広島市手をつなぐ育成会」は知的な障がいをもつ人たちと保護者の会です。南区支部では、毎月第1、第3木曜日に定例会を開催しています。

第1木曜日は、育成会の活動を発信するための会報を印刷、発行するための作業をしています。第3木曜日は、情報交換や行事の打ち合わせ、時には施設見学や講師を招いての勉強会等々…多彩な取り組みを行っています。

同じ悩みをもつ人同士、ささえ合いながら障がいをもつ人たちが少しでも安心して暮らすことのできる環境づくりをしようと頑張っています!!



子ども達と龍頭峡で水遊びもしました

ボランティアグループ紹介「点字サークルてんでん」

私たちは、昭和62年のサークル発足以来、視覚障がいのある方からの依頼があった本や南区だより等の広報紙の点訳を行っています。また、点訳だけでなく、病気のため視覚障がいになられた方で、点字を勉強している方たちの支援も行っています。

現在、27名のメンバーで毎月第1・第4水曜日の午後1時から定例会を行っています。定例会では、和気あいあいとした雰囲気の中で点字を学んでいます「点字って何だか難しそう…」と思われがちですが、初めての方でも一からお教えしますので、安心して点字を楽しみながら身に付けることができますよ!

点字を学びながら仲間と交流できるサークルです。一緒に楽しみながら点字を学んでみませんか?

興味、関心を持たれた方を歓迎します。まずは気軽に定例会を覗いてみて下さい。

定例会：毎月第1・第4水曜日の13:00～15:00

連絡先：082-251-0525(南区社会福祉協議会)



ボランティアフェスティバルの点字の体験コーナーの様子

その入れ歯…捨てないで!!

入れ歯についている金属の「クラスプ」というバネに、貴重な貴金属が含まれています。この金属を集めてリサイクルし、その益金により難病患者・家族への支援やユニセフを通して世界の子もたちを救う事ができます!

広島難病団体連絡協議会は、そのための活動を進めており、南区地域福祉センターにも回収ボックスが設置されました。どうぞ、みなさんご協力ください。

【寄付する方法】

郵送の場合

- ① 汚れを落とし、熱湯か入れ歯洗浄剤(除菌タイプ)で消毒してください。
- ② 新聞広告等の厚手の紙で入れ歯を包み、ビニール袋に入れてください。
- ③ 封筒に入れ、下記の宛名を記入してください。
- ④ 120円切手をはり、郵便ポストに入れてください(数の多い場合は郵便局の窓口をお願いします)。

回収BOXの場合

- ① 入れ歯に熱湯をかけて消毒するか、入れ歯洗浄剤で洗浄してください。
- ② 備え付けのビニール袋などに入れ、回収BOXに投入してください。
※ 回収BOXは、歯科医院や、公共施設に設置が進められているところです。南区地域福祉センター3階にもあります!



回収ボックスは、南区地域福祉センター入り口に設置してあります

お問い合わせは

広島難病団体連絡協議会

(広島市南区皆実町1-6-29 広島県健康福祉センター3階)

TEL:082-236-1981 FAX:082-236-1986 E-mail:peer@hironanren.info http://hironanren.info/

※ 換金額の30%がJPA(一般社団法人日本難病・疾病団体協議会)を通し全国の難病患者の支援へ、40%が取り組んだ患者会へ、30%がユニセフに寄付されます。

南区社協では寄付を募集しています。

- 物品は、古切手・アルミ缶・車いすなど。(バスカードの受付は終了しました。)
- 金銭は、祝い返し・香典返し・各種募金・チャリティーバザーやコンサートの収益金など。
また、社会福祉法人に寄付された場合、寄付金控除の対象となります。寄付を希望される場合は直接南区地域福祉センターにご持参下さい。地域の皆さまからいただきました寄付は南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

「主な自主財源の事業」

- 地域福祉活動推進事業
 - ・地区(学区)社協活動の援助(いきいきサロン活動費等)
- ボランティア活動推進事業
 - ・ボランティアセンターの運営
- 心配ごと相談事業
- 福祉事業
 - ・老人福祉事業・児童福祉事業・障がい児(者)福祉事業
- 広報事業
(お申し込み・お問合せ)
社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
電話 251-0525

愛の灯火

いつもご寄付のほどありがとうございます。
皆さまからお預かりしたご寄付は、南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

寄付物品 平成25年**3月26日**～平成25年**9月25日**まで

●寄付金

一般寄付
西福寺 様(仁保)
医療法人社団 新井内科 様(京橋町)
吉川 喜美 様(広島県安芸高田市)
公益社団法人 広島南法人会 様(西旭町)



●香典返し

末田 光勝 様(山口県下関市)

●寄付物品

皆実町中通り商店会 様(皆実)
(有)丸忠工業 様(西本浦)
ホープ薬局 様(宇品神田)
県立広島病院 地域連携科 様(宇品神田)
田川 善 様(仁保新町)
花房 あつ子 様(出島)
岡田 憲明・平川加恵子 様(東本浦・北大河)
北野 太則 様(宇品東)
川中 真志 様(比治山本町)
東洋商事(株) 大州店 様(大州)
松延 壽恵子 様(丹那ハイツ)
川島 好晴 様(仁保)
元村 操 様(丹那ハイツ)
池田 美代子 様(宇品海岸)
甲藤 義弘 様(山城町)
柳奥 昭栄 様(宇品海岸)
平川 洋子 様(東雲)
砂田 誠嗣 様(西旭町)
岡田 千里 様(向洋新町)
仁保小学校 様(仁保新町)
仁保中学校 様(仁保)
他 匿名の皆さま多数

南区社協では賛助会員を募集しています!!

平成25年度は64口の申込がありました

(9月25日現在)

南区社会福祉協議会では、誰もがいきいきと安心して暮らせる『福祉のまちづくり』に取り組んでいます。いただいたお金は、地域で取り組まれている「ふれあいいきいきサロン」事業の財源にいたしますので、地域への還元になります。南区の福祉をますます充実させていくためにも、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

■賛助会員(個人・団体)

- ・1口 1,000円
- ・何口でもご加入いただけます。
- ・ご加入については下記までお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
〒734-8523 広島市南区皆実町一丁目4-46
TEL.082-251-0525

入学金等の準備はできていますか?

秋になると高校や大学の推薦入試がはじまります。学校によっては合格発表から数日中に入学金と前期分の授業料を納めなければならないというところもあります。

いざという時に慌てないためにも、進学に際して、いつまでどのくらいの費用が必要になるかを学校に問い合わせ、あらかじめ試算することをお勧めします。また、日頃から家族間で話し合っておくことも大切です。

入学時に必要な費用の貸付も様々なものがあります。まずは、在学されている学校へお問い合わせください。

また、広島市南区社会福祉協議会でも、低所得世帯で他制度の利用や他の方法がとれない方に対して貸付可能な、教育支援資金の貸付窓口となっていますので、まずは申請の条件や手続きの流れなどお問合せください。

■問い合わせ 広島市南区社会福祉協議会
電話(082)251-0525



この広報紙は
共同募金の財源により作成いたしました。

